

【開催要領】 [<開催要領 URL>](#)

第1回 総合的病害虫・雑草管理研究会シンポジウム

主催 （一社）日本農薬学会 学術研究会「総合的病害虫・雑草管理研究会（略称：IPM 研究会）」

【日時】 2026年6月26日（金）10:00～17:00

【場所】 東京農業大学 世田谷キャンパス 榎本ホール（国際センター2階） [<世田谷キャンパスの案内>](#)

【開催方法】 ハイブリッド開催（対面、オンライン）

【開催テーマと趣旨】

テーマ「作物保護のイノベーションを支える ～新たなIPM（総合的病害虫・雑草管理）のいろは～」

本研究会の目的は、既存の価値観にとらわれることなく、新たな視点でIPMの基礎から実践までの新情報を共有することです。そのIPMの大前提は、「経済的な防除により、農業生産者が儲かる」こと、さらに「IPMの実践による品質の高い作物の安定生産」です。

一方、農業生産現場では、病害虫・雑草の管理や実防除を、一つの防除選択肢だけで対処することは困難です。この課題に対峙するにあたり、4つの手法、「耕種的」「化学的」「物理的」および「生物的」防除を用います。それぞれの長所を活かし短所を補完して調和させ、効率的でムダのない防除プログラムの組立てが得策です。

IPMは、これまでの理念・理想の時代から実践の時代に入りました。そして、本研究会では、IPMの根底を成す考え方や、新たな視点に基づく基礎研究、そしてIPMの実践的技術を共有する広場を設けます。その対象者として、行政、研究者、指導者から生産者に至るまで、さまざまな立場の関係者を幅広く考えています。

この視点で、本シンポジウムでは作物保護のイノベーションを支えるIPMのいろは（基礎）を討論します。

【プログラム】

10:00～10:15 開会挨拶 與語 靖洋（（一社）日本農薬学会 会長）
山本 敦司（総合的病害虫・雑草管理研究会 委員長）
（本研究会設立の経緯と体制、シンポジウムテーマと講演の視点）

10:15～10:50 講演1 総合防除に関する施策／ガイドライン、マニュアル、実績指標（仮題）
藤井 達也（農林水産省 消費・安全局 植物防疫課）

10:50～11:35 講演2 実践的で経済的なIPMの基礎と化学的防除の役割
山本 敦司（東京農業大学）

(昼食)

12:35～13:20 講演3 IPMの基盤となる耕種的防除（仮題）
黒木 修一（宮崎県総合農業試験場）

13:20～14:05 講演4 生物的防除の技術と実践のコツ（仮題）
森 光太郎（石原産業株式会社）

(休憩)

14:15～15:00 講演5 現場が儲かるIPMへ向けた発想転換 ～成功事例を添えて～
清水 健（千葉県農林総合研究センター）

15:00～15:45 講演6 IPM実証調査に基づくIPMの普及（仮題）
草間 直人（（一社）全国農業改良普及支援協会）

(休憩)

15:55～16:55 総合討論 17:30～ 懇親会

【参加申込み】

参加費：日本農薬学会会員 1,000円（不課税）、日本農薬学会学生会員 500円（不課税）
非会員・関連学会 1,650円（10%対象 150円）、非会員学生 1,100円（10%対象 100円）
報道関係 無料、懇親会費 4,400円（10%対象 400円）

申込み方法：参加申込みのURLから、お申込み（対面、オンライン）と参加費のお支払いをしてください。

[<参加申込みURLはこちら>](#)

・申込〆切：2026年6月5日（金） ・対面参加の定員は、120名です。（先着順）

【問合せ：（一社）日本農薬学会 総合的病害虫・雑草管理研究会】

メール（シンポジウム事務局）：ipmwg@pssj2.jp URL：<https://pssj2.jp/committee/ipm.html>
（委員長）山本 敦司 （委員）森 光太郎、河津 圭、清水 健